

口頭⑥

ここが知りたい点眼薬

河田町店
○伊藤 公美 鹿又 詩織

【目的】

点眼薬の服薬サポートにおいて、D○処方の人に対して、本数、用法の確認など毎回同じことしか確認できていないことが多く、有意義な服薬サポートができているか不安に感じる。有意義な服薬サポートのために何が必要かを考え、点眼薬の服薬サポートのレベルアップを目指す。

【方法】

女子医大通り店の薬剤師8名に対し、点眼薬の服薬サポートに関するアンケートを実施。現時点での自己評価、点眼薬の服薬サポートをよりよくするために必要なこと、点眼薬の疑問点を記入してもらう。

アンケート結果をまとめ、検討し、その結果をスタッフ間で共有する。

【結果】

アンケートの結果、服薬サポートの自己評価は現段階でほとんどの薬剤師は、普通。よくできていると評価した者は0。その中から2点を抽出した。

点眼薬の服薬サポートをよりよくするために必要なことに対して目薬の使用感と答えた者は全員だったため、

目薬の使用感を患者様に確認したところ、ムコスタ点眼で苦味を感じる方がやや目立ったため、実際にスタッフ全員でムコスタ点眼を使用し、苦味をマスキングできる飲み物があるか検証した。多くの薬剤師が疑問点としてあげた、ソフトコンタクトレンズ使用時の点眼薬の使用に関して、実際にソフトコンタクトレンズに点眼薬をつけ、数日間経過をみた。

【考察】

疑問点を共有することで新たな視点で見ることができ、それを解決していくことで多くの知識を得ることができた。また、実際に目薬を使用し、検証することで使用者である患者様の気持ちを理解できるようになった。

患者様の気持ちに沿った服薬サポートができるよう、今後もスタッフ間で協力し、努力していきたい。